

9. 情報源への接触

問11 投票をどうしようか考える際に参考にしたものについてお伺いします。

[1] 投票日までに、今回の住民投票に関して、あなたが見たり、聞いたりしたものがこの中にありましたら、あてはまるもの全てに○を付けてください。

		%	有効%
1. 市の広報や配布資料	500	67.3	68.0
2. 賛成派・反対派などのチラシ	412	55.5	56.1
3. テレビ	529	71.2	72.0
4. 新聞	479	64.5	65.2
5. 街頭演説	190	25.6	25.9
6. インターネット	18	2.4	2.4
7. 近所の住人との会話	252	33.9	34.3
8. この中のどれも見聞きしない	17	2.3	2.3
9. その他	23	3.1	3.1
有効回答数	735	98.9	100.0
無回答・他	8	1.1	
合計	743	100.0	

[2] ではこの中で、住民投票に関して一番参考にしたものを、一つ選んで○を付けてください。

		%	有効%
1. 市の広報や配布資料	131	17.6	18.0
2. 賛成派・反対派などのチラシ	76	10.2	10.4
3. テレビ	130	17.5	17.8
4. 新聞	139	18.7	19.1
5. 街頭演説	14	1.9	1.9
6. インターネット	0	0.0	0.0
7. 近所の住人との会話	64	8.6	8.8
8. 住民説明会・集会	59	7.9	8.1
9. その他	16	2.2	2.2
10. 参考にしたものはない	174	23.4	23.9
11. わからない	20	2.7	2.7
有効回答数	729	98.1	100.0
無回答・他	14	1.9	
合計	743	100.0	

参考にした情報源に関するこの設問は、合併をめぐる住民投票に関して、私が過去に実施した3件の調査とほぼ同一の選択肢を設け、事例間の比較が可能となるようにしたものである。

[1] を見ると、テレビや新聞といったメディアから発信された情報に接したという人が7割前後に上がることが分かる。例えば、住民投票に関して新聞を見た、という回答は、過去3件の調査地のうち、地元紙・中国新聞を中心として比較的多くの記事が掲載された広島県府中町の事例でも約5割にとどまっており、こうした数字と比べると、全国的にも大きな注目を集めた岩国市のケースでは、新聞などのメディアが、住民投票に際して重要な

情報媒体となっていたことが改めて理解できる。

[2] に着目すると、一番参考にした情報源に関しては、「参考にしたものはない」との回答が最も多かったが、設問に列挙したような情報源に一切頼らず、自分の考えだけで投票した有権者も少なくなかったと言えそうである。次いで「新聞」「テレビ」「市の広報や配布資料」がそれぞれほぼ同数となっているが、新聞やテレビを一番参考にしたという回答割合が相対的に高くなっている点も、やはり過去3件の調査と異なる点である。また、新聞およびテレビを参考にした人に関しては、他の情報源を参考にしたと答えた人に比べて、住民投票を棄権したという人の割合も相対的に高い。

10. 組織・人物からの働きかけ

[3] 今回の住民投票に関して、次の中では、どこ(誰)からの働きかけを一番参考にしましたか。あてはまるもの全てに○を付けてください。

		%	有効%
1. 市長	232	31.2	32.1
2. 市議会議員	50	6.7	6.9
3. 国会議員	16	2.2	2.2
4. 政党	21	2.8	2.9
5. 知人・友人	150	20.2	20.7
6. 家族・親戚	142	19.1	19.6
7. 町内会や自治会	52	7.0	7.2
8. 職場	38	5.1	5.3
9. その他	3	0.4	0.4
10. 参考にしたものはなし	268	36.1	37.1
11. わからない	17	2.3	2.4
有効回答数	723	97.3	100.0
無回答・他	20	2.7	
合計	743	100.0	

過去に3度実施した調査と同様に、やはり「参考にしたものはなし」との回答が最も多かった。周囲の人物や有力者、組織などによる働きかけに頼るという形ではなく、自らの考えに基づいて投票行動を決定した有権者が比較的多かったと言えそうである。他方で、「市長」と答えた人もかなり多く、自ら住民投票を発議し、一貫して「移駐反対」を訴え続けた井原市長の存在が、各有権者の行動にも少なからぬ影響を及ぼしていたことが、この数字からも読み取ることができる。

1.1. メディア接触の増減・情報の取得度

[4] 住民投票の実施を知ってから、テレビのニュースを見たり、新聞を読む時間は増えましたか。この中から一つ選んで○を付けてください。

		％	有効％
1. かなり増えた	187	25.2	25.6
2. やや増えた	225	30.3	30.8
3. 変わらない	319	42.9	43.6
4. やや減った	0	0.0	0.0
5. かなり減った	0	0.0	0.0
有効回答数	731	98.4	100.0
無回答・他	12	1.6	
合計	743	100.0	

[5] では、住民投票で判断材料となる情報を、あなたはどの程度得られたと感じましたか。一つ選んで○を付けてください。

		％	有効％
1. 十分得られた	76	10.2	10.6
2. だいたい得られた	314	42.3	43.7
3. どちらともいえない	245	33.0	34.1
4. やや不十分	45	6.1	6.3
5. 不十分	38	5.1	5.3
有効回答数	718	96.6	100.0
無回答・他	25	3.4	
合計	743	100.0	

テレビのニュースを見たり、新聞を読む時間が増えたという人は全体の半数を超えており、こうした点からも、住民投票をきっかけにして基地の問題に関する住民の関心が高まっていった様子をうかがい知ることができる。ただ他方で、「変わらない」との回答も4割強に上り、今回の住民投票を比較的冷静に眺めていた住民も少なくなかったと言えそうである。

また、住民投票に関する情報の取得度については、合併をめぐる住民投票について調査した埼玉県蓮田市・白岡町・菖蒲町では、「やや不十分」と「不十分」の合計が各市町で30%前後に上ったのに対し、今回の岩国市のケースでは、10%強にとどまっている。「十分得られた」と「だいたい得られた」の合計が半数を超えていることも併せて考慮すると、今回の住民投票では、各有権者の実感としても多くの情報が流通していたことを読み取ることができ、基本的に地域内のみで完結する合併関連の住民投票とは、かなり様子を異にすることが理解できる。